

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理（感染症）	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	難波弘行	学年・学期	2 年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	1 年生で学んだ感染症の総論を復習すると共に、主な感染症の病態や感染経路をさらに深く理解し、理容業・美容業と感染症との関係や予防対策を学習する。授業は講義形式で行い、衛生管理（日本理容美容教育センター2025年4月1日発行）の感染症を中心に、單元ごとにまとめたものをパワーポイントを使用して行う。学生には重要点をレポートにまとめて知識を深めてもらう。また、後期末には試験を実施する。						
到達目標	本科目「衛生管理技術（感染症）」は、病原微生物の種類を理解し感染症法における法的な分類、感染経路や予防対策を理解し日常生活に行かせることにある。同時に、理容師・美容師業務への感染対策にも関心を深め、実践的な行動がとれるようにする。						
授業計画・内容							
第 1 週	オリエンテーション感染症総論の復習						
第 2 週	理容業・美容業と感染症（理容師・美容師の健康管理、感染症基礎知識の重要性）						
第 3 週	空気・飛沫感染症と症状・予防対策（結核、ジフテリア等）						
第 4 週	空気・飛沫感染症と症状・予防対策（インフルエンザ）						
第 5 週	空気・飛沫感染症と症状・予防対策（新型コロナウイルス）						
第 6 週	空気・飛沫感染症と症状・予防対策（麻しん、風しん）						
第 7 週	空気・飛沫感染症と症状・予防対策（新型インフルエンザ等感染症）						
第 8 週	食物を介して感染する感染症（細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌、A型肝炎）						
第 9 週	血液を介して感染する感染症（B型肝炎、C型肝炎、後天性免疫不全症候群、梅毒）						
第 1 0 週	動物・節足動物を介して感染する感染症（ラッサ熱、ペスト、デング熱、）						
第 1 1 週	感染予防に対する具体的な対策例						
第 1 2 週	感染症に関する基本問題						
第 1 3 週	感染症に関する基本問題の解説						
第 1 4 週	感染症に関する前期総まとめ（1）						
第 1 5 週	感染症に関する前期総まとめ（2）						
評価方法	定期試験(後期)を実施し、授業態度や出席状況、レポートの内容を考慮して成績を評価する。 ※定期試験（9 0 %）・授業態度とレポート（1 0 %）						
教科書 教材など	・「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・プロジェクター（パワーポイント使用） ・レポート冊子（1 人 1 冊配布）						
実務経験	薬剤師歴43年（保健所・病院勤務薬剤師、松山大学薬学部臨床薬学教授）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理(衛生管理技術)		学科名		ヘアビューティ学科		授業方法	講義
担当教員	森下 堅一		学年・学期	2 年・後期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・美容所における、消毒の意義と目的を学ぶことで、消毒方法の種類、原理、特徴を理解する。また、美容器具などの対象物の材質、構造などに応じた適切な消毒方法の選択と適切な実践方法を学ぶことにより、美容所において用いられる代表的な消毒方法と正しい操作方法を身につける。 ・授業は講義形式で行い、衛生管理（日本理容美容教育センター2025年4月1日発行）の公衆衛生を中心に、単元ごとにまとめたものをパワーポイントを使用して行う。学生には重要点をノートにまとめて知識を深めてもらう。また、後期末には試験を実施する。							
到達目標	・施術を通して客や美容師に感染症が罹患しないように消毒法を理解する。 ・病原微生物の構造を理解し消毒についての基礎知識を習得する。 ・美容師国家試験の合格を目標とする。							
授業計画・内容								
第 1 週	第1章 消毒法総論 （1節 消毒とは）							
第 2 週	第1章 消毒法総論 （2節 消毒の意義）							
第 3 週	第1章 消毒法総論 （3節 理容・美容の業務と消毒との関係）							
第 4 週	第1章 消毒法総論 （4節 消毒法と適用上の注意）							
第 5 週	第2章 消毒法各論 （1節 理学的消毒法〈殺菌法〉）							
第 6 週	第2章 消毒法各論 （2節 化学的消毒法〈殺菌法〉）							
第 7 週	第2章 消毒法各論 （3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意）							
第 8 週	第3章 消毒法実習 （1節 各種消毒薬）							
第 9 週	第3章 消毒法実習 （2節 理容所・美容所の消毒の実際）							
第 1 0 週	第3章 消毒法実習 （3節 理容所・美容所の清潔法の実際）							
第 1 1 週	衛生管理の実践例 第1章 理容所及び美容所における衛生管理要領							
第 1 2 週	衛生管理の実践例 第2章 理・美容所の自主管理点検表							
第 1 3 週	衛生管理(総まとめ ①)							
第 1 4 週	衛生管理(総まとめ ②)							
第 1 5 週	衛生管理(総まとめ ③)							
評価方法	定期試験(後期)を実施し、授業態度や出席状況、レポートの内容を考慮して成績を評価する。 ※定期試験（8 0 %）ノート提出(1 0 %）・授業態度・出席率(1 0 %)							
教科書 教材など	・「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・プロジェクター（パワーポイント使用） ・レポート冊子（1 人 1 冊配布）							
実務経験	美容師歴7年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	保健	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	岩瀬 泰	学年・学期	2年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・美容の業務は人の容姿を美しくするだけではなく、人体の構造及び各機能についての知識が美容師として必要であることを理解させる。 ・授業は講義形式でプロジェクターを使用し写真や図などを表示しすることで、理解を深めていき、また小テストや提出物により理解できていない単元をピックアップし再度教える。						
到達目標	・美容師試験筆記課題のため、1年次の復習を行う。引き続き2年次も各単元の解説と、重要点をノートにまとめ提出させ確認させる。また、年度末に全体の復習や確認をすることにより、国家試験筆記の合格を目指す。						
授業計画・内容							
第1週	皮膚科学 皮膚とは何か		第16週	5章 皮膚付属器官の保健 * 皮膚と体内病変について			
第2週	1章 皮膚の構造 * 各部の構造および、名称について		第17週	5章 皮膚付属器官の保健 * 皮膚と水分・脂について			
第3週	1章 表皮について * 各層の構造および、細胞・名称について		第18週	5章 皮膚付属器官の保健 * ホルモンと皮膚の保護手入れについて			
第4週	1章 真皮・皮下組織について * 各層の構造及び、役割について		第19週	6章 皮膚付属器官の疾患 * 皮膚の異常とその種類、アレルギーについて			
第5週	1章 部皮膚の位差 単元テスト * 各部位の差と特徴について		第20週	6章 皮膚付属器官の疾患 * 湿疹・蕁麻疹等			
第6週	2章 皮膚付属機関の構造 * 毛の構造と成長・周期		第21週	6章 皮膚付属器官の疾患 * 温熱・寒冷、角化異常について			
第7週	2章 皮膚付属機関の構造。 * 脂腺汗腺について		第22週	6章 皮膚付属器官の疾患 * 色素異常・分泌異常について			
第8週	2章 皮膚付属機関の構造。 単元テスト * 爪や立毛筋について		第23週	6章 皮膚付属器官の疾患 単元テスト * 細菌・ウィルスによる疾患			
第9週	3章 皮膚の循環と神経 及び単元テスト		第24週	人体について復習 1～2章			
第10週	4章 皮膚付属機関の生理機能 * 対外保護作用		第25週	人体についての復習 3～4章			
第11週	4章 皮膚付属機関の生理機能 * 体温調節機能及び、近くと皮膚反射		第26週	人体についての復習 5～6章			
第12週	4章 皮膚付属機関の生理機能 * 分泌排泄作用及び、呼吸・吸収作用		第27週	人体についての復習 7～8章			
第13週	4章 皮膚付属機関の生理機能 * 貯蔵作用及び、免疫・解毒作用		第28週	復習まとめテスト及び、回答・解説			
第14週	4章 皮膚付属機関の生理機能 単元テスト * 再生作用及び、毛と爪のはたらき		第29週	総合問題及び、解答 * 過去問形式			
第15週	5章 皮膚付属器官の保健 解答 * 皮膚と健康・精神・栄養について		第30週	総合問題及び、解答 * 過去問形式			
評価方法	・定期試験を実施すると共に授業時の重要ポイントをまとめたノートの提出・小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（70％）・ノート提出・小テスト（20％）・授業態度や出席（10％）						
教科書 教材など	①公益社団法人日本理容美容教育センター発行：書名「保健」 ②視聴覚教材：プロジェクター（パワーポイント）						
実務経験	美容師歴23年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	香粧品化学		学科名		ヘアビューティ学科		授業方法	
担当教員	仁井名 由記		学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性について学習していく。 ・授業は講義形式で、單元ごとにテストを行い、結果により理解度を確認しながら授業展開を進めていく。							
到達目標	国家試験合格を目標にして、そこにたどり着くための忍耐力を養う。また美容師として身に付けなければならない知識を得て就職してから役立てられるようにしていく。							
授業計画・内容								
第 1 週	5章 頭皮・毛髪用香粧品 1節シャンプー剤			第 1 6 週	5節 育毛剤 1育毛の原因			
第 2 週	2 ヘアリンス剤			第 1 7 週	2 育毛剤の種類と機能 3育毛・養毛の原料			
第 3 週	3 ヘアトリートメント剤			第 1 8 週	6章 芳香製品と特殊香粧品 1節 芳香製品 1香水 2オーデコロン 3その他芳香製品			
第 4 週	2節 スタイリング剤 1スタイリング剤の機能			第 1 9 週	2節 特殊香化粧品 1サンケア製品 2美白用香商品			
第 5 週	2 油性スタイリング剤			第 2 0 週	3制汗防臭剤 4ニキビ香粧品			
第 6 週	3 液状スタイリング剤 4 高分子物質を基材とする スタイリング剤			第 2 1 週	6章 芳香製品と特殊香粧品 1節 芳香製品			
第 7 週	3節 パーマ剤 1パーマの原理			第 2 2 週	2節 特殊香粧品 1サンケア製品 2美白用香粧品			
第 8 週	2 パーマ剤の分類			第 2 3 週	3制汗防臭剤 4ニキビ香粧品			
第 9 週	3 パーマ剤第1剤			第 2 4 週	ワークブックによる演習			
第 1 0 週	4 パーマ第2剤 5 パーマ剤の使用上の注意			第 2 5 週	ワークブックによる演習			
第 1 1 週	4節 ヘアカラー製品 1 ヘアカラー製品の種類と染 毛メカニズム			第 2 6 週	ワークブックによる演習			
第 1 2 週	2 一時染毛料			第 2 7 週	ワークブックによる演習			
第 1 3 週	3 半永久染毛料			第 2 8 週	ワークブックによる演習			
第 1 4 週	4 脱色剤・脱線剤			第 2 9 週	ワークブックによる演習			
第 1 5 週	5 永久染毛剤 6ヘアカラー製品の使用上の注意			第 3 0 週	ワークブックによる演習			
評価方法	定期試験と毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験50% 発表 2 0 % 授業態度 3 0 %							
教科書 教材など	出版社：公益社団法人、日本理容美容教育センター。 書名：香粧品化学							
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ 2 1 3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	運営管理		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	守谷 志妃		学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・ 経営者の考え方、従業員の在り方、顧客に対しての満足されるサービスなど、美容業における経営、接客に必要な基本的な知識や方法について学ぶ。 ・ 授業は講義形式でプリントを使い、簡潔かつ分かりやすくまとめる。美容業にとどまらず、学生に分かりやすい例をあげながら展開し、国家試験対策、将来の経営者になりたいと思う学生の知識が増えるよう授業を行っていく。							
到達目標	・ 本科目「運営管理」のねらいは、国家試験必須科目になっているので、国家試験の合格が出来るようにすることにある。同時に基本的な経営知識、顧客志向、美容業についてなどサービス業（美容業）について理解を深め、働くことの意義や職業理解を通じて、学生の目標を実現に役立てるようにする。							
授業計画・内容								
第 1 週	第1節 経営とは何か 第2節 経営者の責任		第 1 6 週	第1節 健康管理の基礎 第2節 理容・美容の仕事と健康				
第 2 週	第3節 経営の目的 第4節 経営戦略①		第 1 7 週	第3節 理容業・美容業に特徴的な健康課題 第4節 理容・美容の作業環境に関する健康問題				
第 3 週	第5節 経営戦略② 第1節 業界の概要		第 1 8 週	第1節 サービスを考えるうえで重要なこと 第2節 サービス・デザインの基本				
第 4 週	第2節 理容業・美容業を取り巻く社会の変化 第3節 理容業・美容業における競争		第 1 9 週	第3節 サービス・システム① 第4節 サービス・システム②				
第 5 週	第4節 競争の未来図 第5節 理容業・美容業の顧客		第 2 0 週	第5節システムの詳細 第6節サービスの範囲				
第 6 週	第1節 資金管理の重要性 第2節 収支と損益		第 2 1 週	第1節 理容業・美容業のマーケティング 第2節 マーケティング・リサーチ				
第 7 週	第3節 会計の考え方 第4節 コストを管理する		第 2 2 週	第3節 サービスの改善 第4節コスト 第5節 コミュニケーション				
第 8 週	第5節 税金について 第6節 税金の申告		第 2 3 週	第6節 コンビニエンス 第7節 情報コミュニケーション技術の活用について				
第 9 週	第1節 人という資源とは 第2節 人の能力を高める		第 2 4 週	第1節 接客についての理解 第2節 よい接客のために準備				
第 1 0 週	第3節 人をやる気にさせるために 第4節 給与		第 2 5 週	第3節 接客の要点 第4節 接客の実践①(コア) 第5節 接客の実践②(周辺)				
第 1 1 週	第5節 待遇・福利厚生 第6節 労働者の権利		第 2 6 週	第6節 接客の実践③(オプション) 第7節 接客におけるトラブルと対応				
第 1 2 週	第1節 社会としての責任・理容業美容業の従業員としての責任 第2節 社会保険① ～公的年金～		第 2 7 週	第8節 接客で発生が予想される問題 第9節 問題を深刻化させないための対策・対処				
第 1 3 週	第3節 社会保険② ～医療保険～		第 2 8 週	国家試験対策				
第 1 4 週	第4節 社会保険③ ～労働保険～		第 2 9 週	国家試験対策				
第 1 5 週	第5節 キャリアプランの重要性 第6節 仕事をするうえで考えるべきこと		第 3 0 週	国家試験対策				
評価方法	定期試験（前期・後期）を実施する。毎時間の板書プリントの提出、出席状況、授業態度などを考慮して成績を評価する。 ※評価目安：①定期試験（80％）・②ノート提出（10％）・③授業態度や出席（10％）							
教科書 教材など	・ 出版社：公益社団法人 日本理容美容教育センター 書名：運営管理							
実務経験	美容師歴:3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	岩瀬泰/高田勝之/守谷志妃		学年・学期	2年・通年	時間数	90時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・美容技術理論①の続きであるヘアデザインについて学ぶ。 ・そして美容技術理論Ⅱ（着付け・日本髪・エステ・メイク等）を集中的に行っていく。 ・授業は講義形式で、単元が終わるごとに反復学習を行うことにより、自分の苦手な科目を明確にする。そしてクラス全員が同じレベルになるようにクラス内小テストを導入しながら授業展開していく。							
到達目標	・国家試験の合格率100%に向け、クラス全員が安定して8割以上の正答率を出せるよう、授業中に行った単元テストや過去問題、予想問題等を行う。 ・国家試験における出題数が55問であるため、単元ごとに学習の偏りがないよう学生一人ひとりの理解度に注意して講義を行う。 ・美容技術の基礎となる重要な科目であるため、就職した際に充分に活かせるよう基礎知識が理解できるようにする。							
授業計画・内容								
第1週	・3章 ヘアデザイン 美容とデザイン ※ヘアデザインにおける錯覚の利用			第16週	・11章日本髪（日本髪の由来） ※日本髪の歴史			
第2週	・3章 錯覚の種類と説明 ※幾何学錯視・ツェルナー錯視等 デザインの要素			第17週	・11章日本髪（日本髪の名称と特徴） ※日本髪における名称と特徴について			
第3週	・8章エステティック（エステティック概論） ※皮膚の生理と構造			第18週	・11章日本髪（日本髪の装飾品） ※装飾品の名称や取り付け位置			
第4週	・8章エステティック（マッサージ理論） ※フェイシャル及びデコルテマッサージ技術			第19週	・11章日本髪（日本髪の結髪技術） ※使用道具や技術手順			
第5週	・8章エステティック（カウンセリング理論） ※カウンセリングの目的と役割			第20週	・12章着付けの理論と技術（着付けの目的） ※洋服、和服の目的と特徴			
第6週	・8章ボディケア技術（手技と特徴） ※手技の目的と注意点を理解させる			第21週	・12章着付けの理論と技術（礼装について） ※各種礼装の格式や特徴とは			
第7週	・9章ネイル技術（ネイル技術概論） ※ネイル技術の種類			第22週	・12章着付け理論と技術（着付けの要領） ※選び方や模様等の位置、バランス			
第8週	・9章ネイル技術（爪の構造と機能） ※爪の各部名称や形状を理解させる			第23週	・12章着付け理論と技術（振袖の着付け技術） ※補正技術や準備物について			
第9週	・9章ネイル技術（公衆衛生について） ※細菌感染や消毒法を理解させる			第24週	・12章着付け理論と技術（和装、洋装の花嫁） ※着付け方の手順や注意点など			
第10週	・9章ネイル技術（ネイルケアの概論） ※使用道具及び技術の習得			第25週	・7～8章の復習 ※過去問題、並びに予想問題			
第11週	・10章メイクアップ（メイクアップ概論） ※顔の形態学的な観察			第26週	・9～10章の復習 ※過去問題、並びに予想問題			
第12週	・10章メイクアップ（メイクアップと色彩） ※色の三属性と色の分類			第27週	・11～12章の復習 ※過去問題、並びに予想問題			
第13週	・10章メイクアップ（スキンケア技術） ※手順と目的を理解させる			第28週	・国家試験対策 ・技術理論①の総復習			
第14週	・10章メイクアップ（まつ毛エクステンション） ※技術と手順、並びに注意点を理解させる			第29週	・国家試験対策 ・技術理論②の総復習			
第15週	・前期のまとめ ※前期授業の抜粋問題			第30週	・後期試験（国家試験に向けて） ・技術理論①、②の抜粋問題			
評価方法	授業外で定期試験を実施する。授業内で単元ごとのテストや小テストを実施し、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（60％）・単元テストや小テスト（30％）・授業態度や出席（10％）							
教科書 教材など	・日本理容美容教育センター出版「美容技術理論①美容技術理論②」 ・視聴覚教材：プロジェクター（パワーポイント）							
実務経験	・岩瀬 泰（美容師歴：23年）・高田 勝之（美容師歴：4年） ・守谷 志妃（美容師歴：3年）					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容実習		学科名			ヘアビューティ学科		授業方法	実技	
担当教員	岩瀬泰/高田勝之/守谷志妃		学年・学期	2年・通年	時間数	420 時間	必須・選択	必須		
授業概要 ・ 授業内容	・ 前期は主に国家試験の実技第二課題（ワインディング・オールウェーブ）の実習を行い、発表時にはどちらに決まっても問題ない状態を目指す。 ・ 後期からは第一課題であるレイヤーカットと、決定した第二課題の成長を目指す。 ・ 授業は実技形式で行い、学習内容も反復して取り組むことにより技術レベルの底上げを図り、クラス全員が一定の水準に達するように指導をしていく。									
到達目標	・ 国家試験の合格率100％に向けて（ワインディング20分・ウェーブ25分・カット20分）を規定のタイムに入ることや、衛生試験においても全員が同じ理解度に達するため、本番を想定した試験や指導を行う。 ・ 学生全員が就職時に自信をもって現場に立てるよう、技術を学ぶにあたっての姿勢や取り組み方、サロンワークにおける基礎の理解を目指していく。									
授業計画・内容										
第 1 週	・ ワインディング・オールウェーブ共に、1年時に身に着けた技術を復習し、基礎を固める。			第 1 6 週	・ 国家試験スタイル（レイヤー） ＊ 導入を行う。					
第 2 週	ワインディング・・・20分ベースで完成させることを重視する。 オールウェーブ・・・第4週のテストに向けて6段目の構成を習得する。			第 1 7 週	・ 国家試験スタイル（レイヤー） ＊ 手順・ブロッキング・立ち位置を覚える。					
第 3 週	・ ワインディング・・・ブロッキングを正確に取ることを意識する。 ・ オールウェーブ・・・6段目までを35分以内に完成させる。			第 1 8 週	・ 国家試験スタイル（レイヤー） ＊ スタイルの構成を理解させる。					
第 4 週	・ ワインディング・・・テストで全員が20分以内に巻き終わるようにする。 ・ オールウェーブ・・・新たに学んだメイポールカールの完成度を中心に採点を行う。			第 1 9 週	・ 国家試験スタイル（レイヤー） ＊ パネルの引き出し方と角度を理解させる。					
第 5 週	・ ワインディング・・・センターを中心に歪みなく巻きおさめる。 ・ オールウェーブ・・・第7週のテストに向けて7段目の構成を習得する。			第 2 0 週	・ 国家試験スタイル（レイヤー）・・・40分以内 ・ 決定した第二課題・・・全員を合格基準まで					
第 6 週	・ ワインディング・・・ステムに注意しオン・オフペースを適切に巻く。 ・ オールウェーブ・・・7段目まで（全頭）を40分以内に完成させる。			第 2 1 週	・ 国家試験課題 ＊ 使用した道具の使い分けと衛生指導。					
第 7 週	・ ワインディング・・・テストでセンターと巻きおさめに注意する。 ・ オールウェーブ・・・7段目まで（全頭）を35分以内に完成させる。			第 2 2 週	・ 国家試験課題（レイヤーカット・第二課題） ＊ 衛生チェック					
第 8 週	・ ワインディング・・・バックサイドのシンメトリーを意識する。 ・ オールウェーブ・・・全頭25分で仕上げる。			第 2 3 週	・ 国家試験課題（レイヤーカット） ＊ タイムアップを目指し、 3 0 分以内に完成させる。					
第 9 週	・ ワインディング・・・バックサイドの巻きおさめを重点的に審査する。 ・ オールウェーブ・・・時間内に完成できるよう指導する。			第 2 4 週	・ 国家試験課題（レイヤーカット） ＊ タイムアップ2 5 分。衛生指導					
第 1 0 週	・ ワインディング・・・サイドのシンメトリーを揃える。 ・ オールウェーブ・・・スカルプチュアカールのクオリティを高める。			第 2 5 週	・ 国家試験課題（カット・第二課題） ＊ 衛生チェック。カット2 0 分を目安。					
第 1 1 週	・ ワインディング・・・20分で国家試験合格レベルで巻く。 ・ オールウェーブ・・・リフトカールのクオリティを高める。			第 2 6 週	・ 国家試験課題（カット・第二課題） ＊ 見極め。補習によりフォローアップ					
第 1 2 週	・ ワインディング・・・20分で国家試験合格レベルで巻く。 ・ オールウェーブ・・・ピンカールとウェーブのつながりを意識するよう指導する。			第 2 7 週	・ 国家試験課題（カット・第二課題） ＊ 衛生チェック。それぞれの課題のタイムを計る。					
第 1 3 週	・ ワインディング（2 0 分を目標） ・ オールウェーブ（25分を目安）			第 2 8 週	・ 国家試験課題（カット・第二課題） ＊ 見極め。補習によりフォローアップ					
第 1 4 週	・ ワインディングとオールウェーブの見極め ＊ 補習によるフォローアップ			第 2 9 週	・ 国家試験課題（カット・第二課題） ＊ 全員がタイムに入るように指導。					
第 1 5 週	・ 前期試験・・・ワインディング（2 0 分）・ウェーブ（25分）			第 3 0 週	・ 国家試験課題（カット・第二課題） ＊ 後期試験(課題に合わせたタイムと衛生チェック。					
評価方法	・ 授業内で定期試験を実施し、実技・衛生チェックの見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（8 0 ％）・実技・衛生チェックの見極め（1 0 ％）・授業態度や出席（1 0 ％）									
教科書 教材など	・ 「美容技術理論1・2」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・ 「美容師実技試験課題（技術の解説）」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・ プロジェクター（パワーポイント使用）									
実務経験	・ 岩瀬 泰 （美容師歴：23年）・高田 勝之 （美容師歴：4年） ・ 守谷 志妃 （美容師歴：3年）					実務経験のある教員による 授業科目			✓	

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ヘアカラーコーディネート		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	安井けい子・森香絵		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	1 年次に学んだ色彩理論のうち重要項目を復習し、さらなる色彩理論を学び、色彩知識・色彩感覚を深める授業である。 学んだ色彩知識や理論を専門分野に活用できるよう、五感や感性、色彩感覚を磨く個人・グループワークでの実習を行う。 パーソナルカラー理論を学び、実践できるよう様々な実習に加え、グループ診断実習を行う。（希望者のみパーソナルカラー検定受験）							
到達目標	1 年次に身に着けた社会人としてのマナーをより習慣化できるよう、あいさつ、人との関わり方、コミュニケーション力等、接客力を磨く。 学んだ色彩知識や理論を現場で活用できるよう、実践・応用力を高める。 パーソナルカラーを取り入れた顧客への提案ができるよう理論・実習を通じて実践力を身に着ける。							
授業計画・内容								
第 1 週	1 年次ポイント復習と 2 年カリキュラム紹介			第 1 6 週	前期試験対策			
第 2 週	色彩と自己表現 「コラージュ作成実習①」			第 1 7 週	パーソナルカラー理論と実習③			
第 3 週	色彩と自己表現 「コラージュ作成実習②と発表」			第 1 8 週	パーソナルカラー理論と実習④			
第 4 週	色彩理論 「配色とイメージ」、カード実習			第 1 9 週	パーソナルカラー理論と実習⑤			
第 5 週	色彩理論「照明と色の見え方」、ヘアカラーと配色実習			第 2 0 週	パーソナルカラー総復習と小テスト			
第 6 週	色彩理論 「対比と同化効果」、ヘアカラーと配色実習			第 2 1 週	パーソナルカラー診断理論と実習①			
第 7 週	混色理論復習と絵の具実習			第 2 2 週	パーソナルカラー診断理論と実習②			
第 8 週	配色理論とスクラッチアート実習			第 2 3 週	パーソナルカラー診断グループワーク①			
第 9 週	ヘアーデザイン自由画作成と発表			第 2 4 週	パーソナルカラー診断グループワーク②			
第 1 0 週	色彩と嗅覚の相関関係 「アロマテラピー体験」			第 2 5 週	色彩と季節感実習 「和紙でクリスマスカード 作成」			
第 1 1 週	パーソナルカラー理論と実習①			第 2 6 週	パーソナルカラーとヘアカラー理論、実習①			
第 1 2 週	パーソナルカラー理論と実習②			第 2 7 週	パーソナルカラーコラージュ作成実習			
第 1 3 週	パーソナルカラーグループワーク「コラージュ作成」			第 2 8 週	パーソナルカラーグループワークと発表			
第 1 4 週	季節感と色彩実習 「せんす作成」			第 2 9 週	後期試験対①、カラーカード実習			
第 1 5 週	色彩とエンターテイメント 「映画と色彩」			第 3 0 週	後期試験対②			
評価方法	試験約60%、出席率と授業態度約20%、提出物約20% *特に提出物、授業に取り組み姿勢、他者との協調性等を重視する。							
教科書 教材など	色彩検定 3 級テキスト、パーソナルカラー検定 3 級テキスト、カラーカード							
実務経験	カラスクール主宰、色彩・パーソナルカラー講師27年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容総合研究		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	岩瀬泰/高田勝之/守谷志妃		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	・ 前期は実技国家試験対策として1年次で習得したワインディング・オールウェーブや2年次で学ぶカット(レイヤー)技術の向上やタイムアップ行い、後期は筆記国家試験対策として1年次から学ぶ文化論と美容技術理論の復習や問題形式に慣れるために小テストを行い、国家試験合格に向けてクラス全体ではなく学年全体の技術レベルや理解度を上げるために指導していく。							
到達目標	・ 国家試験合格に向けて技術では規定のタイムに入ることや、衛生試験や筆記においても学年全員が理解度の水準を一定にする為に指導を続けていく。							
授業計画・内容								
第1週	実技国家試験対策 ワインディング(センター)			第16週	実技国家試験対策 カット(全体構成・タイムアップ)			
第2週	実技国家試験対策 ワインディング(フロント)			第17週	実技国家試験対策 カット(全体構成・タイムアップ)			
第3週	実技国家試験対策 ワインディング(右バックサイド・サイド)			第18週	筆記国家試験対策(文化論)			
第4週	実技国家試験対策 ワインディング(左バックサイド・サイド・タイムアップ)			第19週	筆記国家試験対策(文化論)			
第5週	実技国家試験対策 ワインディング(全体構成確認・タイムアップ)			第20週	筆記国家試験対策(文化論)			
第6週	実技国家試験対策 ワインディング(全体構成確認・タイムアップ)			第21週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
第7週	実技国家試験対策 オールウェーブ(フィンガーウェーブ)			第22週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
第8週	実技国家試験対策 オールウェーブ(スカルプチュアカール)			第23週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
第9週	実技国家試験対策 オールウェーブ(リフトカール)			第24週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
第10週	実技国家試験対策 オールウェーブ(メイポールカール・クロッキノールカー			第25週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
第11週	実技国家試験対策 オールウェーブ(全体構成・タイムアップ)			第26週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
第12週	実技国家試験対策 オールウェーブ(全体構成・タイムアップ)			第27週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
第13週	実技国家試験対策 カット(手順理解)			第28週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
第14週	実技国家試験対策 カット(引き出す角度)			第29週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
第15週	実技国家試験対策 カット(レイヤーカット)			第30週	筆記国家試験対策(美容技術理論)			
評価方法	・ 定期試験は授業内で実施し、授業の進捗状況に応じ、実技の成長度合いや衛生に係る見極めと、筆記の理解度、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験(80%)・衛生見極め(10%)・授業態度や出席(10%)							
教科書 教材など	・ 「美容技術理論1・2」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・ 「美容師実技試験課題（技術の解説）」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・ 「文化論」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行							
実務経験	岩瀬泰 (美容師歴:23年) 高田勝之 (美容師歴:4年) 守谷志妃 (美容師歴:3年)					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	リラクゼーション技法	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	岩瀬泰/守谷志妃/高田勝之	学年・学期	2年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	・美容院に於いてシャンプーブースはサイドシャンプーとバックシャンプー対応に分かれている。そのため就職をした際にどちらでも対応できる基礎技術を教える。またスカルプマッサージ（ヘッドスパ）技術も必要とされているため、バックシャンプーと並行して教える。 ・授業は実技形式で相モデルで行うが、同じモデルにならないように工夫することで、色々な髪質や頭皮に対応できるように授業展開をする。						
到達目標	・リラクゼーション技法の授業を通して美容師の役割が、スタイルを作ることだけではなく、毛髪及び・頭皮のケアやお客様にリラックス効果を与えることも技術であること知ってもらい、また施術者は全ての技術を行う上で衛生上、清潔な道具や身なりが必要であることを理解させる。						
授業計画・内容							
第1週	・バックシャンプーを理解させる ＊バックシャンプーの手順を教える。	第16週	・スカルプマッサージ ＊相モデル：軽擦法～打法までを理解させる				
第2週	・バックシャンプーを理解させる ＊バックシャンプーの姿勢を教える	第17週	・スカルプマッサージ ＊頭部ののツボ（百会・目窓・太陽）の位置を確認）				
第3週	・バックシャンプー ＊バックシャンプーのシャワーヘッド使い方。	第18週	・スカルプマッサージ ＊頭部のツボ（百会・目窓・太陽・）の位置を確認）				
第4週	・バックシャンプー ＊バックシャンプーのネープ部分の流し方。	第19週	・スカルプマッサージ ＊頸部のツボ（天ゆう・天柱・風池の位置を確認）				
第5週	・バックシャンプー ＊シャンプー＆トリートリートメント	第20週	・スカルプマッサージ ＊頸部のツボ（天ゆう・天柱・風池の位置を確認）				
第6週	・サイドシャンプーを理解させる ＊サイドシャンプーの手順を教える。	第21週	・スカルプマッサージ ＊圧迫法（圧迫弛緩・肩井のツボを確認））				
第7週	・サイドシャンプーを理解させる ＊サイドシャンプーの姿勢を教える	第22週	・バックシャンプー（モデルチェンジ） ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第8週	・サイドシャンプー ＊サイドシャンプーのシャワーヘッド使い方。	第23週	・サイドシャンプー（モデルチェンジ） ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第9週	・サイドシャンプー ＊サイドシャンプーのネープ部分の流し方。	第24週	・バックシャンプー＆トリートメント ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第10週	・サイドシャンプー ＊シャンプー＆トリートリートメント	第25週	・サイドシャンプー＆トリートメント ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第11週	・アームマッサージ ＊腕の軽擦・強擦・揉捻法	第26週	・ロールプレイング ＊受付・施術・案内までの練習				
第12週	・ハンドマッサージ ＊手背・手掌・指のマッサージ	第27週	・ロールプレイング ＊受付・施術・案内までの練習				
第13週	・ブロードライ ＊ドライヤーの使い方・ブラシの使い方	第28週	・バックシャンプー（モデルチェンジ） ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第14週	・アーム＆ハンドマッサージ ＊相モデルでブロードライスタイリング	第29週	・サイドシャンプー（モデルチェンジ） ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第15週	・授業中に前期試験を実施。	第30週	・授業中に試験を実施（総まとめ）				
評価方法	・定期試験として、前期・後期終了時に実技及び衛生関わるチェックの見極め、レポート、成長度、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：実技(40%)・衛生チェック（40%）・授業態度・出席・成長度（20%）						
教科書 教材など	出版社：日本理容美容教育センター。 書名：美容理論Ⅱ・美容実習Ⅱ ・メーカー作成：スカルプマッサージマニュアル						
実務経験	守谷 志妃 （美容師歴：3年）・岩瀬 泰 （美容師歴：23年） 高田 勝之 （美容師歴：4年）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅠ		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	(前期)：中村 友里恵 / (後期)：担任 /柿本 典子		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	授業方法	実技
授業概要 ・ 授業内容	(前期)：ネイルの基礎知識、技術を中心に道具や器具の使い方を学ぶ授業である。・授業は実技形式でサロンワークに役立つ実習を行い、必要な接客技術も身に付けられるようにする。 (後期)：サロンワークに役立てるために着付けやカラー・パーマとカット・アップの基礎技術から応用を学ぶ。・授業は実技形式を中心にグループワークを中心に行い、相モデルで接客業のたい大切さを学び、トータルの作品制作をする。							
到達目標	(前期)：ネイルの基礎知識、挨拶、接客を含め、将来働く職場での興味を持たせ、実際に就職した際に実践的な行動が取れるようにする。 (後期)：サロンに就職した際に極力知らない技術が無いように教え、前期に引き続き美容師の仕事は技術だけではなくお客様の気持ちになれることの大切さを教えて行きたい。							
授業計画・内容								
第1週	自己紹介、授業の進め方、教材確認、ラベル・名前・シール貼り			第16週	着付け（着付けの基礎：和服と洋装の違い			
第2週	爪の構造と機能について			第17週	着付け（下着の種類と着付け方）			
第3週	爪のカットスタイル・エメリーボードの使い方説明チップで5種類の形をとる			第18週	小物の扱い方・着物と帯の種類			
第4週	爪のカットスタイル②チップで5種類の形をとり、提出			第19週	小物の扱い方とたたみ方・結婚式の装い。			
第5週	消毒方法と種類・器具の消毒の手順、病気について			第20週	結婚式の装い。			
第6週	ネイルケアの手順説明、カラーリング説明（ペーパーでカラーリング練習）			第21週	＊グループ決め（役割分担） 美容雑誌等を参考に作品のイメージを決める。			
第7週	ネイルケア、カラーリング 自分の手で練習（シャイナーで爪磨き）			第22週	ウィッグで練習して分からないところを研究した質問をする。			
第8週	ジェルネイルの基礎知識			第23週	ウィッグで練習及び研究をする			
第9週	ジェルカラーの塗り方（チップで練習）			第24週	作品のテーマを考える。			
第10週	ネイルアートの種類、描き方（ジェルネイルも含む）			第25週	作品制作（カラー＆メイク）			
第11週	ネイルアートの実践（フラットアート）			第26週	作品発表（テーマとポイントの説明）			
第12週	ネイルアートの実践②（ジェルアート）			第27週	トータルバランスの審査。			
第13週	ネイルアートの実践③（ネイルチップの作成）			第28週	トータルバランスの審査と結果発表。			
第14週	ネイルアートの実践③（ネイルチップの作成・提出）			第29週	ヘアカラー実践（パッチテストの理解を深める。）			
第15週	マッサージの手順・説明・実践（ハンドマッサージ・パラフィンパック）			第30週	ヘアカラー実践（希望色に染める）			
評価方法	(前期)：学期末試験で筆記試験の結果、授業態度や出席状況及び課題提出状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：筆記試験結果（70％）・授業態度や出席（20％）・課題提出（10％） (後期)：定期試験を実施し、授業内でトータルバランス審査結果と授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：トータルバランス審査結果（80％）・授業態度や出席（20％）							
教科書 教材など	(前期)：出版社 「日本理容美容教育センター」 書名：美容技術理論Ⅱ及び美容実習Ⅱ (後期)：出版社 「女性モード及び新美容出版」 書名：H A I R M O D O ・ T O M O T O M O ・ S H I N N R I Y O							
実務経験	前期：中村 友里恵(ネイルサロン経歴15年) ／後期：担任					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅢ(ヘアデザイン)	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実習
担当教員	岡野宏行	学年・学期	2年・前期	時間数		必須・選択	選択
授業概要・ 授業内容	美容技術に要する各道具の使い方、姿勢を実践を通じて教える。今時代の技術教育をアプローチ。普段の授業では習えないクリエイティブな部分を教えると同時に、サロンに就職して役立つ些細なこと、言葉遣い、作法も教える。そして美容業への理解を深めてもらう。また外部講師も招きより実践的な実習も行う。						
到達目標	カット、カラー、パーマ、ヘアセット、どの分野の技術も今の時代にマッチしたことを経験してもらう。作品撮影等も行い、就職活動の支援も行う。来年度からは社会人として学校ではなく美容業という社会の中を生きていくという自覚を抱いてもらう。						
授業計画・内容							
第1週	自己分析、目標設定、接客マナー、基本的な器具の使用法						
第2週	ロングヘアカット、ヘアアレンジ						
第3週	ヘアアイロン使用法、ヘアアレンジ						
第4週	ブリーチカラー、カラーリング学						
第5週	カラーリング、ヘアアレンジ						
第6週	スタイルカット、コテ巻きアレンジ						
第7週	フォトシューティング						
第8週	編み込みコンテスト、パーマ						
第9週	特殊カラー、座学						
第10週	SNS活用法、ショートスタイルカット						
第11週	メンズカット、特殊パーマ						
第12週	ヘアアレンジ、バリカン技術						
第13週	自己分析、苦手の克服、カラーリング						
第14週	試験準備						
第15週	前期試験						
評価方法	前期試験を実施し、仕上がり状況を確認して決定						
教科書 教材など	美容文化論、ウィッグ、各種薬剤						
実務経験	14年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅢ（ベーシック）	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	吉川 利也	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	〈授業概要〉 サロンワークで一年目から自信を持ち活躍できる基本的な美容技術、知識、社会人としての教養を養う。 〈内容〉 基本的に座学で理論、知識を深め、実技にて美容技術を体験し理解を深める。またそれをもとに評価飼育。授業内容によっては、薬剤の使用やプロジェクターなどの視覚的資料も行なっていく。						
到達目標	他の科目同様、国家試験合格を念頭に置きその中でもよりサロンワークに近い目線で基礎的な技術や知識を授業の中に落とし込んで理解と美容業への好奇心を深めていくことを目標とする。また技術、知識のみならず社会人になっていく上で必要な礼儀、考え方、在り方も身につける事が出来るようにする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、ベーシック専攻の概要						
第2週	シザーの持ち方、開閉練習、ロングスタイルのベーシックカット						
第3週	ロングボブのカット、セニングの理論、大切さ、セニングでの仕上げ方						
第4週	カット（ショートボブ、グラデーションカット理論）アイロンでの仕上げ方						
第5週	幅広いコ手巻きの使い方を知る、夢を持つことの大切さをかんがえる						
第6週	ブリーチを使用しインナーカラーを施す。感謝と思いについて考える						
第7週	カラー理論（ハイライト）、基本的なホイルワークの技術、挨拶の大切さについて考える						
第8週	毛束を使ってマニュキア（3原色）でカラーの調合、レシピを作り発表し共有する						
第9週	ヘアアレンジ、幅広の編み込み技術、グループに分かれて実習、継続力の大切さについて考える						
第10週	ショートスタイル理論、カット、ロング、ボブとは違う質感調整の考え方、前髪の切り方						
第11週	メンズカット、刈り上げの切り方、スタイリング剤の使い方、挑戦と成長の関係性について知る						
第12週	プロジェクターを使いカラーやパーマの髪の水に対するケミカル理論、パーマをロッドの代用となるもの（割りばし等）でパーマの当たり方、原理を直に体験して学ぶ						
第13週	前期試験課題の解説及び準備、事前のウィッグ仕込み、課題スタイルの共有						
第14週	前期試験（課題スタイルをコピーカット、スタイリング）						
第15週	前期試験の結果発表、これまでの振り返りを含め、将来ビジョンについて						
評価方法	①前期試験の評価（60％） ②授業態度と出席（20％） ③授業中の技術見極め（20％）						
教科書 教材など	日本理容美容教育センター美容技術理論、新美容出版SHINBIYO/BOB プロジェクター、パソコンでパワーポイント						
実務経験	美容師歴10年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅢ(ブライダル&メイク)	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	CUTS	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	選択
授業概要 ・ 授業内容	ヘアメイクの基礎から流行り迄学び、技術のスキルアップを目指す。授業は実技形式で行い、実践に役立てる為にウィッグだけではなく相モデルでの授業を多めにしたぶらいだるの仕事の流れが想像しやすい内容である。						
到達目標	就職した際に必要なヘアメイクの技術を身に付け、基礎からトレンドのヘアメイクができるようになる。また、お客様へ接客マナーや態度を踏まえた臨機応変な対応ができるようになる。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、ホットカラー夜会巻き（ウィッグ実技）						
第2週	オリエンテーション、メイク実習（相モデル）						
第3週	花嫁セットメイク和装（相モデル）面スタイル						
第4週	花嫁セットメイク和装（相モデル）シニヨン						
第5週	花嫁セットメイク和装（相モデル）ゆるふわアレンジ						
第6週	花嫁セットメイク和装（相モデル）かちもり・韓国風メイク						
第7週	花嫁セットメイク和装（相モデル）編みおろし・トレンドメイク						
第8週	花嫁セットメイク和装⇒洋装（相モデル）①						
第9週	花嫁セットメイク和装⇒洋装（相モデル）②						
第10週	ドレス着用レクチャー（ドレス着用）カウンセリング方法						
第11週	結婚式場見学（ラヴィール岡山）ドレス着用レクチャー						
第12週	ヘアセット応用編（セット・メイク）カウンセリング込み						
第13週	ヘアセット応用編（セット・メイク）カウンセリング込み						
第14週	実技テスト（ウィッグテスト・2スタイル）次回のカウンセリングシート作成						
第15週	実技テスト（相モデル セット・メイク）カウンセリングシート提出						
評価方法	定期試験を実施。出席率、授業態度、ヘアメイクテストを考慮して成績を評価する。 評価目安：テスト及び毎時間の課題、授業態度や出欠						
教科書 教材など	百日草						
実務経験	掛郁恵：美容師歴21年/細川知江：美容師歴18年/藤井愛由美：美容師歴18年/ 古賀絵利香：美容師歴16年/田頭琴恵：美容師歴12年/南田華那：美容師歴10年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅢ（着付け）		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	清水 直子		学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	選択
授業概要 ・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。							
到達目標	美容師において特殊技能として必要な和装着付けを、冠婚葬祭の対応として基礎から応用まで教え、最終留袖着付けは25分以内で着付けできるように目指す。また、浴衣、振袖着付けの技術の基礎も教えサロンワークに生かせるようにしたい。							
授業計画・内容								
第1週	・着付けのマナー、着物の取り扱い方 ・着物各部の名称を覚える。 ・長襦袢半襟のつけ方を学ぶ。							
第2週	・長襦袢の襟とじ。体型補整用コットン、胸当てガーゼ、腰当布を作成しボディ補整を学ぶ。							
第3週	・長襦袢着付け（ボディ使用）・腰紐の結ぶことになれる。留袖着付けに、着物の取り扱い方を学ぶ。							
第4週	・袖着付け（ボディー） ・帯結び 二重太鼓を学ぶ。							
第5週	・袖着付け（ボディー） ・帯結び 二重太鼓。 着物の衿合わせ、前中心、後ろ中心を揃える。							
第6週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 着物と帯結びのバランスを細かく学ぶ。							
第7週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 留袖着付け（礼装）の小物バランスを学ぶ。 帯揚げ、帯締め、末広							
第8週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 格式高い留袖着付けのバランスを学ぶ。							
第9週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 30分以内で着せる練習。							
第10週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 25分以内で着せる練習。							
第11週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 認定テストタイム25分で着せる。							
第12週	・浴衣着付け（相モデル） 浴衣の着せ方 半幅帯の結び方 変わり帯結び 浴衣自装							
第13週	・振袖着付け（ボディー使用） 振袖の着せ方（留袖との違い） 袋帯の結び方							
第14週	・振袖着付け（相モデル） 体型別補整 振袖着付け 袋帯の結び方 創作帯結び							
第15週	・振袖着付け（ボディ使用） 振袖着付け 創作帯結び 発表							
評価方法	・授業中に認定試験を実施し、授業内で技術見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：認定試験（80％）・授業内の技術見極め（10％）・授業態度や出席率（10％）							
教科書 教材など	・出版社：公益社団法人・日本理容美容教育センター 書名：美容技術理論Ⅱ ・出版社：（株）アイメディア 書名：ゆかたアップ&帯結びbook							
実務経験	美容師経歴35年 着付歴33年					実務経験のある教員による 授業科目		✓